



STAFF 水澤 勇 さん

犬猫のお世話から皆様への説明までしています。初めての方でも、一つひとつご理解いただき里親になられたケースや、2頭の受け入れをしていただけることもあります。正しい理解を得られるように、これからも活動していきたいと思ひます。



STAFF 縄田 幸保 さん

1頭でも多くの犬猫がやさしい里親と出合い救えたらと思ひ、各譲渡会を回って説明をしています。譲渡会と聞くと『無料』と思われる方もみえますが、『必要な費用がかかる』ということを丁寧に伝えていくことが大切だと思ひます。



STAFF M・N さん

人づてにわんにゃんさんとおや会のことを聞き、それをキッカケに力になりたいと思ひて働いています。一般の方から引き取りの問い合わせを受けることが増え、中には理不尽な理由もあります。飼主さんには家族として最善を尽くして欲しいと思ひます。



STAFF Y・U さん

海外のアニマルシェルターで活動していたこともあり、シェルターの求人を見つけここで働き始めました。心身ともに傷を負っている子たちと触れるには時間をかける必要があります。可能な限り通っていただくことが、最良の動物への歩み寄りとなります。



What's Shelter シェルターって何？

わんにゃんさんとおや会が運営するシェルターとは、専任スタッフが常駐し、保護動物たちの飼育を一元管理している施設です。一元管理をすることで、治療や体調管理をスムーズにおこなうことができ、里親候補の方に犬猫それぞれの経緯を事細かに伝えることができます。



巻頭特集

特定非営利活動法人 / 保護譲渡推進協会

『わんにゃんさんとおや会』

改めて考える“命を守る”ということ

日頃愛くるしい眼差しや仕草で私たちを癒やしてくれる動物たち。しかしその影には様々な事情で愛情を受けられなかった動物たちがいることをご存知でしょうか。助けを必要とする命に正面から向き合い、小牧市で活動を続けている「わんにゃんさんとおや会」では、そのような救うべき命のために働き、正しい情報を届けたいと活動する人たちがいました。



わんにゃんさんとおや会
Manager
向井 正男 さん



わんにゃんさんとおや会
理事
高取 伸行 さん

『わんにゃんさんとおや会』は、2019年6月に設立され、翌年10月に京都でスタートをした保護動物の譲渡会を行っているNPO法人(特定非営利活動法人)です。時を同じく10月より小牧市にてシェルターを開設。行き場のない犬猫たちの保護から飼育までをし、里親となる方への譲渡をおこなっています。この活動の必要性をさらに感じるキッカケとなったのは2022年6月の動物愛護法改正です。法改正では、繁殖犬等の飼育や管理について具体的な数値規制が設けられ、非人道的な犬猫の繁殖業者を防ぐことが期待されています。その一方、将来的には管理しきれなくなった犬猫たちが行き場を失う可能性があり、法律の解釈によつては守りきれなくなる犬猫が増えつしまうのではないかとこの危機感を感じ、より情熱を込めた活動を進めているのが『わんにゃんさんとおや会』なのです。こちらでは、愛護センターから受け入れ拒否された子、一般の方からの飼育困難になった子の引き取り、繁殖引退、疾患のある子達、様々な理由の子達が多く保護されています。

救うべき命のために
立ち上がった人たち

保護活動における
知っておくべき現実

動物も同じ命あるものとして大切に思い、『殺処分ゼロ・飼育放棄ゼロ』を目指して活動する理事の高取さんは、動物たちの置かれた現状をこう話します。「家族と同じように人から愛情を受けて生活する犬猫がいるのを感じています。ただ一方では目を背けたくなるような事実があることも知っていました。劣悪な衛生状態で繁殖用に飼育され、一切の愛情を受けずに育ってきた子や、人間の事情によつて一方的に捨てられるペットたちが多くいるのが現実です。」

人間と同じように、感情を持ち痛みも感じる命だからこそ、残りの生活では愛情を感じる環境で穏やかに過ごすことができるといふ活動が続けられています。そこにはなかなか認知や理解が進んでいない多くの苦労があるようです。そのひとつが重くのしかかる費用との戦いです。1頭でも多くの犬猫が健康を取り戻し、人間不信となった心を解すには専属のスタッフが必要となり、また月々に数百万円にもなる治療費や食事代、家賃の確保が欠かせません。

NPO法人である以上、銀行借入に多くを望めない側面もあり、毎月赤字の補填は高取さんを含む役員メンバーの個人資産を投げ売り賄っているというのが現状なのです。

人間に怯える相手に対し、愛情を持って接することも並の努力ではできないことではなく、噛まれたり引っかかる危険もあります。だからこそ、ペットシヨップでは高価だからという理由のみで、保護犬猫の里親になるというのは少し違います。治療費や食費をはじめ、さまざまな費用を含めると数万円が必要となり、あたりまえですが譲渡後も毎月の出費が発生します。里親になるにはその覚悟と、なによりも深い愛情が必要であると感じます。

譲渡だけではない
支援を広げる必要性

どうすれば1つでも多くの命を救うことができるのでしょうか。「まだまだ正しい情報を発信しきれずに、支援に対するご理解をいただけていないのが現状だと思ひます。ご協力いただける企業さんや獣医さんもおられますが、まだまだ救う命の数と比べたら全然足りていません。だからこそ、1人でも多くの方に理解をしていただき、支援の輪を広げていきたいと日々努力しています」と高取さんはお話してくださいました。様々な事情により里親を引き受けることは出来なくとも、活動の

ための寄付という支援の形もあります。また何気なく譲渡会に参加し、動物たちへの認識が変わり受け入れを申し出てくださる方や、親子で来場し、社会問題として保護動物のことを学び伝える場とされる方もみえるそうです。「わんにゃんさんとおや会」では正しい理解を広げるために、見学者も歓迎しています。私たちが出来る、それぞれの理解と支援の形は様々です。これからも『わんにゃんさんとおや会』のような活動が続けられるように、その理解を深めていく中で、それが1頭でも多くの命を救うことに繋がるといふ事実を無視することなく、私たちと同じ命をもつ彼らのことを考えてみてはいかがでしょうか。

わんにゃん基金

月間サポーターになると会員カードが届きます。カードのご提示で各会場の物販のサービスが受けられます。

- シルバー会員：月額3,000円 ▶ 3%割引
- ゴールド会員：月額5,000円 ▶ 5%割引
- プラチナ会員：月額8,000円 ▶ 8%割引
- ダイヤモンド会員：月額10,000円 ▶ 10%割引
- ダイヤモンドVIP会員：月額30,000円 ▶ 20%割引

特定非営利活動法人 / 保護譲渡推進協会
わんにゃんさんとおや会

【小牧シェルター】

〒485-0045
愛知県小牧市川西 2 - 53
TEL : 0568-54-5700

